

こみち

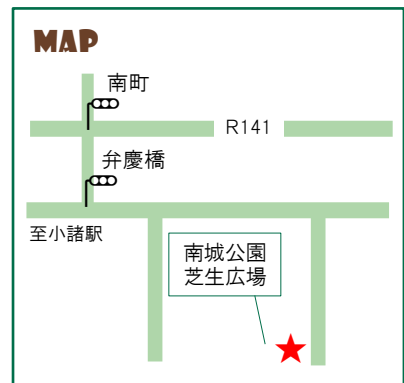
本の小途

Vol.14
2022.秋号



特集

Made in KOMORO



= 表紙写真 = 南城公園芝生広場で行われた「第3回こもろふれ愛フェスティバル」の様子。市内外の飲食店・菓子処の販売ブースや手作りワークショップなど賑わいをみせた。(2022.9.24 撮影)

近年、国内にワイナリーが増えている。小諸でも二〇二三年に飯綱山公園に STARACE KOMORO (スタラス小諸) というワイナリー・レストランがオープンする。さらにマンズワインのワインが日本ワインコンクール2022で賞を取るなど、今小諸産ワインが注目されている。ワインで思い出す事が一つある。私が大学卒業後に就職したのは、とあるレストランだった。そこで新米の私が最も苦労したのはワインについてだ。それまでお酒に興味があった私はワインの味と用語を覚えるのに非常に骨を折った。休日も小諸のワイナリーに行ってワインの勉強をし、なんとか人に説明できる程度の知識を得ることができた。未だにワインを飲むと、その頃の苦労が渋味と共に思い出される。年月を重ねれば、この渋味を楽しめるようになるだろうか。



『わたしのせいじゃない』
～せきんにんについて～
レイフ・クリスチャンソン 文
にもんじまさあき 訳
ディック・ステンペリ 絵
岩崎書店 (2017.2)



『にぐるまひいて』
ドナルド・ホール 文
パーバラ・クーニー 絵
もきかずこ 訳
ほるぷ出版 (1980.10)



みなさんの
とっておきの一冊

洋裁屋 atorie
小松彩希子さん

何気なくイラストに惹かれて手に取った絵本ですが、内容を読むにつれて自分の鼓動がどんと大きくなるのを感じました。この絵本はぜひ大人の方にも読んでほしいです。

『職人衆昔ばなし』
(文春学藝ライブラリー)
斎藤隆介 著
文藝春秋 (2015.12)
4legs
西村治美さん

丁稚奉公の時代の職人さんの生き生きとした話が語り口調でスラスラと読めます。

glim 上田由利子さん
生活に必要なものほとんどが手作りだった時代、家族がそれぞれに作ったものをお父さんが市場に売りに行き……。慎重に暖かく、そしてたくましい当時の暮らしを描いています。家族みんなで作ったものの中には蜜蝋ろうそくもあるのです。

～本途人舎よりお知らせ～

賛助会員 募集のお願い

わたしたち本途人舎は本と人、過去と未来をつなぐ活動をしています。わたしたちの活動へのご支援を募集しています。
年会費 (個人) 一口 3,000 円 (団体) 一口 10,000 円

- 銀行振込
振込先: 特定非営利活動法人 本途人舎 (名義名: ホントヒトシャ)
八十二銀行 小諸支店 普通 口座番号 1128420
※新規で振込にて申し込みをされる方は、お手数ですが本誌 奥付のメールアドレスまでご一報下さい。
- 本途人舎メンバーに直接お渡ししていただくことも可能です。

入場無料
1万5千冊をデザインした装幀著・菊地信義と本をつくる人々のドキュメンタリー映画
DVD 上映会
「つつんで、ひらいて」
2022年11月13日(日) 午後1時30分～(開場1時)
会場 小諸市市民交流センター ステラホール
定員 100名(申し込み不要)
※上映会終了後、友の会メンバーによる作品解説と懇談会を開催予定です。お気軽にご参加ください。
主催: 市立小諸図書館 共催: 小諸図書館 友の会 イベント部会

今月の元標 (第4合目) ふたたび
(前略)長野の句会でこの同人たちと会って、来年は! と約束した。その約束の今日が来て、諸君も打ち連れて同行することになったのである。
『長野県文学全集第二期第四巻大正編II』
「浅間山」より (P.267～282) 島崎藤村ほか著 / 郷土出版社 / 1989.11
おぎはら せいせんすい 萩原 井泉水 詩人。
種田山頭火の師。菱野温泉に歌碑がある。同巻では、昭和2年8月の浅間山登山の様子が書かれている。
「元標」とは浅間山に登る人のための道しるべのことをいい、小諸八幡神社を起点に全10合で出来ています。

編集後記
今号の特集で取り上げさせていただいた以外にも、モノ、コト、人と小諸にはたくさんの“いいもの”が溢れていると思います。それらをまず自分が楽しんで、周りの人にも伝えていきたいですね。(Y&K)

みんなのオススメの1冊 (参加者募集中! 詳しくは下記ホームページまで)
リレー版 ほんのひととき
選んだ人
ペンネーム 白米 さん
木の実に出来た山犬は、ある日吠えなくなった。力強く「ガオ!」と吠えるときなんと体がバラバラになってしまう。山犬だった木の実たちは様々な動物を形作り、互いに食べたり食べられたりしながら再び山犬に戻っていく。不思議で忘れられない絵本。
『ガオ』
田島征三 作
福音館書店 (2005.2)





マンズワイン株式会社 小諸ワイナリー
ショップマネジャー

さとう ふさこ
佐藤 富佐子さん (中央)と
かけがわ みなこ
掛川 美奈子さん (左)、塩川 のりこ
塩川 紀子さん (右)

マンズワイン株式会社
小諸ワイナリー

小諸市諸 375 ☎0267-22-6341

●営業日・休業日
2022.8/17～11/23：無休
(11/30～)：水曜日休業
●営業時間
9：30～16：30



ショップ前の広場は憩いの
場所としても開放されています。



光がぼれる地下セラー。気品と
ロマンが詰まった空間でした。

地下セラー（普段は非
公開）などをご案内し
た後、最後に四種類のワ
イン（お酒が飲めない場
合はジュース）の試飲を
していただきます。なお、
ツアーは日時が限定され

スタッフの皆さんのワイン愛を感じら
れる時間でした。今まで知らなかった
ワイナリーの楽しみ方を教えていただき
ました。ありがとうございました。

一歩的な作品としておすすめですよ。
漫画です。ワインを
知るための、始めの
原作、オキモトシユウ
作画／講談社」という



S ワインを題材にした『神の雫』（亜樹直
Q 最後におすすめの本を教えてください。
Q 最後に おすすめの本を教えてください。

たら大変嬉しいですよ。
マンズワイン小諸ワイナリーを知って
いただきたいです。知っていただくこと
ワインを今より身近に感じていただき、
より深くワインを楽しんでいただけま
たら大変嬉しいですよ。

五十周年に向け、ぜひ地元小諸の方
マンズワイン小諸ワイナリーを知って
いただきたいです。知っていただくこと
ワインを今より身近に感じていただき、
より深くワインを楽しんでいただけま
たら大変嬉しいですよ。



日本ワインコンクール
2022 では「ソラリス」
シリーズの 6 品が
「金賞」を受賞し、
このうち 3 品が各部門
の最高賞に与えら
れる「部門最高賞」も
獲得しました。

地下セラーには
ワイナリー開設当
時からワインと一
緒に大切に受け継
がれてきた資料が
保管されていま

近年、小諸市内にはワイナリー
が続々とオープンしていま
す。そんな中、小諸市諸にある
マンズワイン小諸ワイナリーは、
一九七三年の開設から来年で
五十年の節目を迎えられるそ
うです。地元で長年ワインを
造り、国内外でのワインコンク
ールで賞を受賞されている同社を
じっくり知りたいと思ひ、見学
に伺ってきました。

ほんとひと

本と人を紹介するコーナー

Q 小諸市でワイナリーを開設された
理由を教えてください。
佐藤さん（以下S）小諸市が、いい
ぶどうが作れる条件「雨が少ない」
「日照量が多い」「朝晩の温度差が
ある」という三つの条件を備えてい
たということ。そして、島崎藤村など
とも関わりの深い、詩情豊かな文化
の香り高い地であったということも
大きいと思います。
Q 開設から四十九年。ワイナリーの
歴史を敷地内のあちこちで知ることが
出来るそうですね。
S 今から三十四年前の一九八八年十月に
季節外れの大雪が降り、収穫間近の多くの
ぶどうの棚が倒壊する被害が出ました。そ
の時に、雪害からの復興を、これまでの棚
式の善光寺ぶどうの栽培ではなく、マンズ
レインカット栽培法（※）で欧州系ぶどう



※マンズ・レインカット栽培法
……ぶどうの垣根をビニールで
覆って雨を防ぐ栽培法。雨にあた
ると病気になるやすいぶどうを
まもることで、ぶどうが理想的な
状態まで熟すのを待つことが
可能となる。（左写真）

品種で行うという決断を多く
の農家の方々がして下さいま
した。雪害という過酷な災害
で、当時のご苦労は図り知れな
いですが、そこで欧州系での
復興を選択して下さったから
こそソラリスという、多くの
賞をいただけるワインの
誕生に繋がっていると
思います。
その他にも、シャルドネ
の樹齢四十一年の樹や、
奥信濃に古くから伝わる
龍眼（善光寺ぶどう）の
樹齢百年を超える樹もあります。

ツアーも始められたとか。
S はい、金土日祝の午後一時半から一時間
程度、最大十名様までのツアーです（有
料）。シャルドネ、ピノ・ノワールなど
三十二品種のぶどう樹が植えられている
品種園や、万人の方にこの庭園の景観と
ここから造り出されるマンズワインに酔
っていたいだきたいと思ひで名付けられ
た庭園「万酔園」、七十年〜九十年代にか
けて試験されたワインが保管されている

くらしを彩る Made in KOMORO

小諸でつくられた
もの
つくっている
人たち

蜜蝋ろうそく作家



glim 上田由利子さん

<https://glimbeeswaxcandles.stores.jp>
Instagram @glim_bee
粉花（小諸市）、ぬかじワインハウス（小諸市）、
pace around（御代田町）でも一部の商品を
お求めいただけます。

➤ 蜜蝋ろうそくづくりを始めたきっかけは？

子ども達が通ったシュタイナー幼稚園では、お誕生会だ
けでなく毎日の暮らしの中で蜜蝋ろうそくが使われて
いました。毎年秋になると先生や保護者で1年分のろう
そくを作るのですが、初めてそのお手伝いをした時、蜜
蝋の甘い香りの中で、溶かした蜜蝋に何度もディッピング
（つけては出すことで太くしていくやり方）するその
静かな行為に感動しました。その後蜜蝋ろうそくの魅力
に惹かれ、自宅でも作るようになりました。はじめは
子ども達との時間を過ごすために作っていたのですが、
やがて製作依頼を受けるようになり販売も始めました。



11月5日（土）軽井沢・緑友食堂さんにてキャン
ドルディッピングのワークショップ開催予定。
詳しくはインスタグラムにてお知らせいたします。

➤ 製作の上で大切に していること

国産の良質な蜜蝋で、
ひとつひとつ丁寧に作る
ことを心がけています。



木工家／イラストレーター



4legs（フォーレッグス）
西村治美さん 西村靖浩さん

インターネットでの販売をしております。
<https://4legsfactory.net/existing/>

➤ 木工を始めたきっかけは？

氷河期世代のため、景気も悪く就職難でしたの
で、とにかく何か手に職をとと思い木工を始め
ました。絵の方は、そういえば学生の頃は絵が
描きたいと思っていたなあと突然思い出しまし
て……今は両方やっております。

➤ 製作の上で大切にしていること

材料屋さんから製作者に、それがお客さんに
渡り……と物や思いやお金が循環しているサイ
クルの中に自分達もいることを意識しています。



洋裁屋



洋裁屋 atorie 小松彩希子さん

小諸市荒町 1-2-3 営業時間 10:30～18:00
水曜定休 他不定休
Instagram @yohsaiya_atorie
お店 LINE ID @416jmrz

➤ 洋裁を始めたきっかけは？

祖母も母も洋裁をする人だったので、小さい頃から
服を作ることが身近なことでした。また、映画や
舞台が好きだった私は洋裁の道に進む事にしました。

➤ 製作の上で大切にしていること

お客様が『どんなデザインが好きなのか』
『どんな時に着たいのか』『普段服のことで
どんな悩みがあるのか』など、【お気に入りの
服】になるように沢山お話をすることを心がけて
います。

